

飯山高校 香川県中小企業家同友会 連携協定

令和4年5月10日



飯山高校と香川県中小企業家同友会は、
5月10日に包括的連携協定を締結しました。

香川県中小企業家同友会の独自のインターンシップである、共有型インタビューシップの機会を飯山高校の生徒たちに経験してもらうことにより、生徒たちが自分たちの暮らす地域の中小企業を深く知ることや働くことについて考えるきっかけになると期待されます。

飯山高校では、看護科、総合学科、ともに、総合的な探究の時間や課題研究などの授業を通じて、地域社会に貢献できる生徒の育成をめざしています。

今回の連携協定が、さらなる教育の充実につながることを期待し、体育館で調印式が行われました。

調印式では、生徒を代表して、本校の生徒会長より、「さまざまな活動に取り組めることにわくわくしています。少しでも地域に貢献できるように頑張りたいです」と、インタビューシップに向けて前向きに学ぼうとする意欲を伝えました。



*** 共有型インタビューシップ**: 生徒が企業に直接出向き、経営者や従業員から企業の概要や経営理念、働きがいなどを聞き取るなどして企業を深く知るとともに、企業側にも生徒への説明を通して、存在意義を再認識してもらうことを目的とする。